



＊5月の部会は、鹿ヶ谷基地の里山にて4月に芽吹き花咲いた桜やコバノミツバツツジ、コシアブラ、タラノキなどの新緑の葉が輝く鹿ヶ谷公園の中、クラフト部材の製作と竹プロペラ、竹鉄砲、間伐材の製材を行いました。実家が北広島町の高杉さんが、実家に保管してあった古い板材を鹿ヶ谷基地に持ち込まれ、カンナ作業をされました。実家の風呂場の天井貼りと壁の補修に利用されるとのこと。これも「もりメイト倶楽部クラフト部会」活動の楽しみの一部ではないかと思えます。今後も、和気あいあい楽しく集い活動出来たらいいなと感じた5月でした。

6月も、個性溢れる部員のお好みによる創意工夫したクラフトの考案と、スキルUPを図る取り組みをしていく考えです。また、里山部会の活動場である妙國寺において、本堂屋根改修廃材等の活用と、納屋の整備、環研部会の松が原フィールドでのクラフト案などを思案しております。興味のある部員の皆さま一度覗いてみてください。＊



竹加工に励む末本・原島さん



古板材のカンナ作業。高杉・原島さん



人気の木エクラフト「フクロウ」



杉板になった倉庫正面の壁



斧で薪割りする富田さん

GW 最終日、安佐北区中三田にある小川フィールドでの里山部会。初参加の坂本さんは、五日市からバイクで来られ、集合場所を間違えるハプニングもありましたが、到着を待ち、15分遅れで開催。

この日の作業は、クラフト部会の基地（鹿が谷）から持ち込んだ杉板で、倉庫の正面の壁をスレートから杉板に変更しました。段ボールで当て紙を作り右側の板壁から作成しましたが、左側の作成時に当て紙をひっくり返さずに、そのまま右側と同じものを作り大失敗、再度作り直し完成。その他、道路の落葉をかき集めて道の清掃。1月にナラ枯れを発見

して伐倒し、玉切りしていたコナラの薪割り。椎茸ほたぎの樽木の本伏せ。さらに、昨年竹炭を作成した時、窯の不具合が見つかった窯を新しく作り直す作業を行いました。次回完成予定です。

また、4月例会で倶楽部の備品「チェーンソーNo.5号機」のエンスト（エンジnstool）が度々見受けられたので、この日参加した倶楽部員に、方法を詳しく解説しながら修理を行いました。念のためプラグも交換し（北野氏からの提供）、チェーンソーオイルの流出量調整も行い完成。しかし、神の倉から持ち帰った桜のチェーンソーによる製材を試みましたが、またまたチェーンソーの故障であえなく作業を断念。チェーンソーの修理は奥が深い！

14時20分作業を終了し、後片付けを行いミーティング。この日初参加の坂本さんからは、「里山部会はガッツリ作業があると思いその心づもりで来ましたが、ゆったりとした作業で色々な人と話ができた大変勉強になりました。」との感想を頂きました。怪我も無く、14時30分散会。皆さん、おつかれ様でした！（参加者17名）。

～6月の里山部会は、総会開催のため中止とします、次回は7月10日に小川フィールドで行います。～